

AED（自動体外式除細動器）の使い方

心臓が突然止まるのは、心臓がブルブルと細かくふるえる「心室細動」が原因となることが少なくありません。AEDは、この心臓のふるえを取り除くための電気ショックを行う機器です。自動的に心電図を解析して電気ショックが必要かどうかを判断し、音声メッセージ等で必要な対応を指示してくれますので、一般の人でも簡単確実に操作することができます。



AEDにはいくつかの機種がありますが、基本的な構造と機能は同じです。



-1-

AED本体のふたを開け、電源ボタンを押します。ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。

以降は音声メッセージ等の指示に従って操作します。



-2-

傷病者の胸に電極パッドを貼り付けます。貼り付ける位置は電極パッドにイラストで描かれています。



-3-

『患者に触れないでください。』などの音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。

電気ショックが必要であれば、『**ショックが必要です。充電中です。**』などの音声メッセージが流れ、充電が開始されます。



※ショックボタンを押さなくても自動的に電気ショックを行う機種もあります。



-4-

『**ショックボタンを押してください。**』と音声メッセージが流れたら、誰も傷病者に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。電気ショック後は、直ちに心肺蘇生法を開始してください。2分後、再度解析が始まるので、音声メッセージの指示に従ってください。

● A E D や心肺蘇生法を実施する際は、**プライバシー保護**にも努めてください



衆人環視下では服を脱がさずに A E D パッドを装着



タオルや上着など掛けるものがあれば肌の見える部分を覆う

ここでは A E D の使い方について、簡単に説明しています。

A E D は、胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせた心肺蘇生法と併せて使用することで救命率が高まります。

あなたの勇気が救命の第一歩です！